

第12・13期(2020年度)「未来を拓く地方協奏プラットフォーム」
コンソーシアム教員の公募に関する Q&A

2019年7月版

コンソーシアム共通

Q1: コンソーシアム参加機関はどのようなものでしょうか？

A1: 2019年5月現在

代表機関: 広島大学、共同実施機関: 山口大学、徳島大学、連携機関: 国公立大学、企業等 全62機関で構成されています。詳細は、下記 URL をご確認ください。

https://home.hiroshima-u.ac.jp/hiraku/program_connexion/

Q2: テニュアトラックはどのような形で行われるのでしょうか？

A2: 最初に採用された各機関において、テニュアトラック審査が行われます。テニュアトラック審査の時期、方法、基準等については、合格者に対して別途通知いたしますが、基本的には各大学のテニュアトラックのルールに則って行われます。

Q3: 「科学技術イノベーションへの貢献」とはどのようなものでしょうか？

A3: 「知の大競争時代」において地域・大学・各研究者が生き残り、人類の健康と福祉、社会の安全と安寧、地球環境の持続性などへの貢献を果たしていくためには、特定の分野だけでなく人文学・社会科学など含めたすべての分野において、自らの分野に閉じこもることなく社会と積極的に関与していく人材が求められています。また、科学技術イノベーションは、英語では science, technology and innovation であり、ここでのイノベーションには、サービスイノベーション、ビジネスイノベーションなど、新しく生み出された知の様々な社会展開の形が含まれるものと解釈してください。具体的な貢献には、コンソーシアム教員となった後の、企業・異分野研究者などとの共同研究なども含まれます。大きな枠組みとしては政府の科学技術イノベーション総合戦略 2014 などをご覧ください。

<http://www8.cao.go.jp/cstp/sogosenryaku/2014/honbun2014.pdf>

Q4: 書面(紙媒体)で応募しても良いですか？

A4: いいえ、紙媒体の書類は受け付けません。本公募要領に記載の電子メールアドレスに送付してください。

Q5: 講義の負担はどの程度ですか？

A5: 各機関・部局によって異なります。しかし、研究エフォートが60%以上を求められていることにご留意ください。

Q6: 博士号取得見込のものは応募できますか？

A6: 着任時までに博士号を取得できるのであれば、応募できます。

広島大学限定:

Q1: 給与支給はどのようになっていますか？

A1: 採用者には、月給制又は年俸制が適用されます。(広島大学職員給与規則適用)

※現在、新たな年俸制を検討しており、採用時点で新年俸制が導入されている場合は、新年俸制が適用されます。

【月給制適用の場合】 国、独立行政法人、地方公共団体又は国家公務員退職手当法に定める公庫等を退職後、引き続いて本学に採用される場合は、退職手当の算定の基礎となる在職期間は通算されません。法人化前の取扱いとは異なりますのでご注意ください。なお、他の国立大学法人又は独立行政法人国立高等専門学校機構等を退職後引き続いて本学に採用される場合は、現所属機関に同様の定めがある場合に限り通算されます。

Q2: 着任前の前任大学で研究指導を行っていた大学院生をコンソーシアム教員として赴任後も研究指導できますか？

A2: 前任大学と所属大学の間で大学間協定を結ぶことで、大学院生の学籍を移動しなくても研究指導が可能になります。

Q3: 学内に保育所はありますか？

A3: 広島大学内外に保育所があります。大学スタッフも入園の支援をいたします。

Q4: 出産・育児等による休職は認められるのでしょうか？

A4: 広島大学の「育児・介護休業等に関する規程」により認められます。テニユアトラック期間については、検討中です。

他に何か質問がございましたら、下記にお問合せ下さい。

Contact E-mail address: consortium-koubo@office.hiroshima-u.ac.jp